

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1901回例会 | 令和8年5月14日
18:30～19:30



創立40周年

○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- (株)昇栄 山本みなみ様、山崎梨英様

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日はRALY研修報告会として、昇栄の山本様、山崎様ありがとうございました。また企業としてバックアップしていただきありがとうございました。今週のクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーご協力お願いします。）
- 運天直人幹事（山本様、本日はありがとうございました。先週できませんでしたが、今月誕生日なのでスマイルさせていただきます。）
- 鶴丸彰紀会員（お誕生日のお祝いを頂きありがとうございました。たさぶろうさんのコシヒカリで家に帰ってから、いつも以上に妻が喜んでくれたのが印象的でした。感謝します。）
- 長克則会員（先日結婚記念のお祝いを頂きありがとうございました。妻も大変喜んでいました。スマイルさせていただきます。）
- 金田昇会員（山本みなみさんRYLAで参加、また本日の卓話ありがとうございました。）
- 関谷亮一会員（結婚記念品ありがとうございました。只今田植の真最中です。秋の実りを期待したいと思います。）



5月10日 郡山市 国際看護福祉大学校
米山記念奨学生によるポリオ根絶イベントセミナー

▶第1901回例会出席状況 (R8年5月14日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	57名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	17
Ⓓ 全正会員数	74名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	14名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	71
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	56.0%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんばんは。あつという間に5月の半ばということで、今年度始めぐらいでしょうか。気象庁が40度以上の猛暑日とか、猛暑の日の新しい言葉ということで酷暑日というのを設定したということで、今年は相当暑くなるんじゃないかということで、皆さん報道等で

予感してたと思いますがもうここ連日、20度後半の温度帯になりそして朝夕は少し冷え込むということで、皆さん体調管理ご苦労してるかと思いますが、くれぐれも体調管理には気を付けて、日々お仕事、職業奉仕に過ごしていただければと思います。本日は、お客様「昇栄」の先日RYLA研修に参加していただきました山本みなみさん。そして金田ガバナーエレクトのご令嬢のIT関係のスペシャリストの山崎梨英さん。お二人をお迎えしまして、本日は先日の3月14、15日で行われましたRYLA研修の研修報告会をさせていただきたいと思います。通常であれば3月の研修が終わって、翌週にすぐ山本さん等呼びして研修報告会をしていただくんですが、先日私共40周年の記念事業ということで、少し立て込んでおまして、研修の報告会を少し後ろのほうにずれてしまうということになります。この青少年奉仕委員会の担当委員長が島田君ということで、どうしても報告会させろということでこの時期になりました。先週から5月9日10日と全国のインターアクトの研修会が福島県の「ビューホテル」を会場におこなわれました。先程、金田ガバナーエレクトからお話いただいたように、全国からいろいろな方がお集まりいただいて福島県の地で研修をされたということで、当会からは金田ガバナーエレクトと諸橋会員、十文字会員がこちら一泊二日で研修のほうをこなしてこられたということになります。そして、40周年の記念事業として、南湖公園の公園内にある石碑。藤田新次郎君碑が完成というか君碑は先に建てたんですが、「池田工芸」さんのご尽力をいただいて解説文を40周年の記念事業として付けていただいて、そちらも完成してきたので5月10日、時間のある会員だけではあったんですが、そちらのほうも行って記念撮影をさせていただいております。そして、その同日米山奨学生によるポリオ根絶イベントということで、こちらも地区の行事ですが、金田ガバナーエレクトや諸橋会員や矢田部会員、中嶋会員、根本会員、大住会員、運天会員、堀田会員、大竹会員と総勢11名。そして、先日紹介しました米山奨学生のベルマティさんも含めて郡山でセミナーを聞いてきました。ポリオ根絶のセミナーはちょこちょこあったりもするんですが、今回は米山奨学生自身であったり、実際その運営をされたり講演をやった方がポリオになってしまったんですね。ポリオになってしまって、それこそ体がちょっとご不自由になったりしたりして、本当にポリオのワクチンの効果というのは絶大であるということのをこう身を持った体験でお話をさせていただく大変貴重な講演会でありました。なかなかポリオとは何ぞやとか、そういった部分のお話や文献はあるんですが、実際ポリオに罹患してしまってそこから復

活されて、今米山奨学生として日本で頑張っている方の貴重なお話を聞くことができました。そして、何より今週末は磐梯熱海の「華の湯」にてクラブリーダーシップラーニングセミナーがおこなわれます。矢田部実行委員長のほうが皆さんにお知らせしてと思いますが、今週末がいよいよ16日が準備と17日が本番ということで、次年度の地区運営に関わる大事なセミナーがおこなわれますし、白河西ロータリーが主幹ということになりますので、是非矢田部委員長が日々準備に奔走されてますので、多くの方でお手伝いをして実のある研修にしていきたいと思っております。是非そちらのほうもご協力お願いしたいと思っております。そして昨日第2回のクラブ協議会が開催されました。2回目ということで、もう次年度に向けて青木年度の準備が淡々と進んでおり、各委員長の事業計画だったり、予算等がだんだん形になってきました。先日も、そのクラブ協議会で結構皆さんで議論になったんですが、ここ当クラブとしては3年間金田ガバナーエレクトの準備の年と、金田ガバナーエレクトの年と、あと金田バスターガバナーになるその一年間というのは、いろいろな地区大会やいろんな所で全員登録だったり、いろいろな部分で地区の応援する度合いが例年よりも強くなりますので、そういった部分の予算の変動だったり、会員の皆さんからも地区の特別協力金というんでしょうか。そちらを徴収させていただいたり、そこに40周年もありましたのでここ3年はなかなか通常の会計とは違う会計で当クラブ進んでおりますので、今年度もそうでしたが次年度に関しましても青木年度は吉成幹事と特別な予算の中で動かなくてはいけないという部分もありますので多分近々に、会員の皆さんにいろいろな部分での費用面に関するいろいろな相談というか議論の場を青木次年度が設けるかと思われま。特別な年度だけじゃなく、この物価上昇も含めて会費の使い方や、物価の関係でこういったホテルの維持、食事の値段だったり、いろいろな部分が皆さんに今の時世に合わせるようになるのかと思いますので、そういった部分は皆さんといろいろ協議をして、どんどん新しいスタイルで決めていきたいと思っております。本日は山本みなみさん。そして、山崎さんから少しお話をいただけるのかな。そういった部分で今日は事業所として「昇栄」の皆さんには大変お世話になる一日だと思っておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

■幹事報告

運天直人幹事

○白河市国際交流協会 会長内藤義久:令和8年度白河市国際交流協会総会資料の送付並びに会費納入のお願いについて/「実践英会話講座2026」の開催について

○県内分区ガバナー補佐 大木和彦:県南分区新旧会長幹事会/バスターガバナー補佐会議のお知らせ

○米山記念奨学会事務局 峯純子:ハイライトよねやま314号

○白河ユネスコ協会 会長小野利廣:令和8年度白河ユネスコ協会第1回役員会資料及び議事録の送付について

■各委員会報告

●三大ラーニングセミナー実行委員会

矢田部実行委員長



皆さん、こんばんは。先程、会長のほうからも応援メッセージいただきました。いよいよ16、17日今年度最後の三大セミナーになります。今回は、約600名の参加者なんです。これはもう次年度の地区委員長と当クラブの次年度の委員長。西クラブでは12名登録してま

す。この12名に関しては、次年度幹事の吉成さん対応で全員出席するように連絡を取っていただければと思います。私のほうで皆様にご案内申し上げたんですが、メールが届かなかったり、いろんな部分で返事がかなりもらえなかった部分であります。私のほうに返事来た部分で16日は一応15名参加で準備をしていきたい。そして、当日17日には現地でも8時集合。白河7時出発で、乗り合いの連絡も出したんですがほとんどの方が連絡をいただけないということは、直行だと思っただけで是非気をつけていただければと思います。私のほうには一応9名の連絡がありましたので、17日は9名乗り合いでうちの「ペイントクラブ」のほうを出発していきたいと思っただけです。まだ一緒に行きたいという人があれば連絡いただければ、私のほうに問い合わせいただければと思います。そして、当日駐車場がかなり少ないんですね。でも、白河西メンバーの方には「華の湯」の駐車場を用意してます。今日、一人で行く方、あと相乗りで行く方、これがあれば「華の湯」の駐車場に停められます。歩いてすぐですから。ない人は「ユラックス熱海」のシャトルバスで送迎になりますので、私のほうに枚数ありますので直行でいく方、これを取りに来ていただければと思います。とりあえず、金田年度を盛り上げるために17日35人ではちょっと淋しいんですけど、600人の方々を無事研修が終わるように努力していきたいと思っただけです。頑張りますので皆さんよろしくお願ひします。

■本日のプログラム 青少年奉仕委員会担当例会

●青少年奉仕委員会

島田修一委員長



皆様、こんばんは。青少年奉仕委員会の島田です。今日は青少年奉仕委員会担当例会ということで、先程会長からお話ありましたが、少し前にはなりますが3月14日15日、2日間に渡りまして磐梯熱海温泉にてRYLA研修会が開催されました。RYLAとはここで

私が説明するものもおこがましい話ですが、Rotary Youth Leadership Awardsの略でして、次世代を担う若者がリーダーシップ、コミュニケーション、問題解決のスキルを磨き、地域社会に貢献できる人材になるのを目指した若者のための短期集中型のリーダーシップ育成プログラムとなっております。私も白河西ロータリークラブからは金田ガバナナーエレクトが地区役員として。そしてまた金田ガバナナーエレクトの経営されております「株式会社昇栄」様より若手社員の方3名にRYLA研修生としてご参加いただきました。本日はその中の1名の山本みなみ様に研修の発

表をしていただきたいと思います。山本さん、よろしくお願ひいたします。

●RYLA研修会の報告



「株式会社昇栄」 山本みなみ様

本日は私が参加させていただいたRYLA研修会についてご報告させていただきます。よろしくお願ひいたします。改めまして、「株式会社昇栄」の山本みなみと申します。「昇栄」では情報システム統括部に所属しております。2025年9月に入社しました。まだ入社して日が浅いのですが日々多くの事を学びながら業務に取り組んでおります。前職はシステムエンジニアでシステム開発をおこなってまいりました。前職の経験を生かし「昇栄」ではPC機器の管理や業務効率化に向けたアプリケーションの開発をおこなっております。本日は3月に参加いたしましたRYLA研修会について学んだ内容と気付きをご報告させていただきます。今回の研修では大きく3つのテーマについて学びました。一つ目は対人スキル、コミュニケーションです。岡田先生の講演でコミュニケーションカードを使ったワークを体験し、自分の特製を客観的に理解すること、そして他者を理解することの大切さを学びました。二つ目は創造性ひらめき力です。下村先生の講演では、情報収集や日々の習慣、ルール設定などひらめきを生み出すための具体的な行動について教えていただきました。三つ目はファシリテーションスキルです。グループディスカッションを通じて相手の意見を否定せず受け止める姿勢や、和やかな空気づくりの重要性を体感しました。それでは、それぞれの内容を詳しくご報告させていただきます。まず、岡田先生の講演についてです。先生の講演では実演を交えながら対人スキルについて学びました。中でも印象的だったのが、コミュニケーションカードを用いたワークです。このワークを通じて自分の考え方や特性を客観的に知ることができました。また、他社の特性を知ることで異なる価値観を理解しようとする姿勢がいかに大切かを実感しました。多様な考え方を受け入れることが、より良い人間関係の構築に繋がるということを改めて学びました。コミュニケーションカードを用いたワークから大きく4色。赤、黄色、青、緑のどの特性に自分が当てはまるのかわかります。私自身は緑チームに該当しまして、その特性がとても自分に当てはまっていました。自己理解を深める貴重な機会となりました。次に、下村先生の講演についてです。先生からはまず、情報を積極的に取り入れることの大切さを学びました。新しい知識や多様な視点を吸収することで脳に刺激を与え、ひらめきの種を蓄えることができるそうです。そして、学んだことをアウトプットし行動に移すことが重要だというお話がありました。講義で学んだノート作成の方法を実践し、情報の整理やアウトプットにも取り入れていきたいと思っています。先生の講演で特に印象に残ったのは「好きこそもの上手なれ」という言葉です。自分の好きなことを大切に、自分の中にあるひらめきや創造性を行動を通じて育てていきたいと強く思いました。続いて、グループディスカッションで得た学びについてです。ディスカッション

を通じて特に二つの意識すべき事を学びました。一つ目は、意見を受け止める姿勢です。相手の意見はまず受け止め否定せずに聞くこと。そして、共感を示し積極的に耳を傾けることで発言する側が安心感を得られるということを実感しました。二つ目は、安心できる環境づくりです。リラックスした場を作ることで自由な発言が促され、安心感が多様な視点を引き出してくれます。その結果、活発な意見交換が生まれより良い議論に繋がるということ学びました。最後に、今回研修で得た3つの学びを今後どのように生かしていきたいかについてお話します。まず一つ目、対人スキル、コミュニケーションでは相手の特性や価値観の違いを意識し、自分とは異なる考え方であっても尊重する姿勢を日常にコミュニケーションの中で常に心掛けていきたいと考えています。二つ目、創造性ひらめき力では、日頃から積極的に情報を取り入れ、研修で学んだノート術を活用することでアウトプットの質を高め新しい発想に繋げていきたいです。得た知識や発想を業務で実践し、成果として還元できるように努めていきたいです。三つ目、ファシリテーションスキルでは会議やチーム活動の場でまずは相手の意見を受け止め傾聴する姿勢を大切に、誰もが安心して発言できる雰囲気づくりに貢献していきたいと考えています。これら三つの学びから得た知見を行動に移し、日々の業務、及びチーム活動の中で継続的に活用して自身の成長に繋げていきたいと考えております。以上で私の報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

●金田昇ガバナーエレクト



山本みなみさん、お疲れさまでした。ありがとうございました。なかなかRYLAっていても難しいというか、開催が難しくいろいろな変遷してます。昔と違って最近はこのふうなのか、あとは地区によってもやり方が違ったりいろいろな事がありますので。ちょっとロータリー

の青少年奉仕というものについてご説明したいと思えます。皆さん知ってる方もいらっしゃると思いますが、新会員の方とか新しい方なかなかわからないと思いますので、ロータリーの奉仕活動ってどんな事をやってんのかなってことも含めてちょっとご説明させていただきたいというふうに思えます。青少年活動に種類というものは普通は4つ程大きなありまして、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAという4つの地区においても委員会がありまして、そのほか青少年という括りにはちょっと違うんですけども、米山記念奨学会制度とロータリー財団留学生というのがあります。ロータリー財団留学生は、日本から行く学生に対して財団の活用して使ってくということ。有名な方が、前に国連の難民高等弁務官だった緒方貞子さんが日本で初めてのロータリー財団留学生としてアメリカに行って、そのあと国連に入って活躍なされたということで、ロータリー財団留学生の方はそういうような国際的な所に行く方も多数いらっしゃいます。一つ目のインターアクトクラブについてご説明します。先週インターアクトクラブのインターアクトの全国研究会が福島会議ということで郡山でおこなわれました。230名ぐらいの参加がありまして

「コミュタン福島」三春町にありますそこを会場にしておこなわれました。日本中の方が来て、原発事故の内容を把握したりということで、非常に話題性の富んだ会議となりました。通常ですと150~160名ぐらいの会議なんですけども、福島県でおこなわれるということで事前の委員会も頑張って230名程来ていただいたということです。インターアクトクラブというのは、12歳から18歳までの中高生を対象とした社会奉仕クラブであります。大体学校の中にありまして学校外でクラブを作るというのはちょっと珍しいのですがほとんどないです。福島県の2530地区内には12のインターアクトクラブがありまして300名ぐらいいるのかな、ちょうどそのぐらいのいらっしゃいます。目的は指導力と奉仕の精神を養って国際理解を深めるということで、若いうちから国際的な感覚を身に付けましょうということと同時に、活動内容に関しては少なくとも二つの奉仕活動をやってくださいということで、学区内とあと地域社会に出ているような活動をしましょうということでゴミ拾いとかもやってますし、あと有名なのは三春滝桜で高校生が案内看板を作ったり、外国の方達をご案内したりなんていう活動もしてるようであります。次にローターアクトクラブというのありまして、これは18歳以上、高校卒業してから社会に出ての方とか、学生の大学の中に下部クラブを作ったりしております。三週間前、全国大会というのが東京の代々木でおこなわれて非常に盛り上がりまして。以前は30歳までという年齢制限があったんですが、今はその上限が撤廃されて大体40手前ぐらいまで皆さん活動しております。福島県というか2530地区はちょっと低迷しております。クラブ数が4つ。それから、会員数が37名です。ちょっと少ないんですけども、これからもう少し多くしていきたいなというふうに思っております。目的は専門知識や指導能力の開発、RYLAも含めて社会人として企業に役立つような活動だったり、社会奉仕活動なんかをやっております。それから、先程山本さんが参加してもらったRYLA (Rotary Youth Leadership Awards) というのがあります。これは中高生も対象になりますし、大学生、それから若手の社会人ということで、年齢40歳ぐらいの方も参加したりはしております。地区によっていろいろありまして、長いとこだと4日間ぐらい離島に行ってやるとか、そんなところもあったり、海外に行ってやるなんていうような経済的に余裕のある地区もあるようでありましたが、私たちの2530地区は以前は2泊3日とかいうので野外でやったりとかです。ねやってたんですけども、ここ10何年ぐらいは1泊でやるというふうな形になっております。活動内容としてはキャンプをやったり、ワークショップ形式でいろんなリーダーシップ、先程山本さんが発表したような事をやっております。このRYLAって何故そのRYLAって言葉の由来なんですけども、Rotary Youth Leadership Seminarって付けたり、Trainingって付けるのに何でAwardsなんだろうという。Awardsというのは表彰とか賞という意味なんですけども、これちょっと読ませていただきますとRYLAの原形は1959年にオーストラリアのクイーンズランド州ブリスベンで開催されたイベントに遡ります。当時、クイーンズランド州の創立100周年を記念して英国のアレクサンドラ王女が同州を訪問することになりました。これを歓

迎するために地元のロータリアンたちが、地元の若手リーダー達を集めて王女と一緒に過ごす特別な研修会を企画したということが始まりであります。RYLAの正式名称はAwardsなんですけども、日本では青少年指導者養成プログラムと訳されます。このAwardsなんですけど、選ばれた名誉。当時このブリスベンでアレクサンドラ王女の招待に選ばれたということでこれをAwards、証とされています。参加すること自体が最大の賞品であるというふうな考え方でAwardsというのをずっと続けられてこられたそうであります。どこかで聞かれた時にそのようなことに説明していただければと思います。それから、ロータリー青少年交換、ロータリーユースエクステンションというのがあります。当クラブでも昔10年くらいですか、交換留学生やってきました。来年久しぶりに復活しまして、菊地さんが当クラブをホストクラブとして台湾のほうに行くようになりました。これは大体高校生を対象にやっておりますが、長期交換ということで約一年間の現地の学校に通って、お互いのクラブですね。アメリカのだったらアメリカのクラブ、台湾のだったら台湾のクラブから一人いただいて、こちらが出すというような交換のやり方です。齋藤愛さんとか大竹ゆかりさんが昔、白河西ロータリークラブの交換留学生として二人ともアメリカですかね、行っておりました。最近、アメリカとかカナダとか英語圏に行きたいという子供が多いんですけどもなかなかマッチングしない。あっちが来たいということがないとなかなかマッチングができないということで、最近ではメキシコとかスペインとかヨーロッパも増えているようであります。あとは他には短期などもあるようなんですけども、当地区では実施しておりません。この予算は地区の青少年交換の予算として皆様から年間2,000円いただいて、それを積立しまして大体200万位ですか、そのくらいの金額がありますので、それを基金としてそれで運用しているということになります。来年は1名なんですけど、通常3名から4名くらい参加しております。来年、台湾から女性の学生さんがいらっしゃるそうなので楽しみにしております。それと先程お話しましたロータリーの組織とちょっと違うんですけど米山記念奨学制度というのがあります。次年度ですか、白河西ロータリークラブもホストクラブとしてカウンセラーも含めて世話クラブをやることになりました。ネパールの子ですね、来るということで先週もお会いできました。その米山記念奨学会でこれは当たり前のことなんですけど米山梅吉さん、日本ロータリーの父と言われる米山梅吉さんが作ったのではなくて、米山梅吉さんの功績を記念して設立されたということで、東京ロータリークラブが提唱クラブとなりましておこなわれるようになりました。この米山記念制度の最大の特徴というのが、世話クラブとカウンセラーがいるということです。他の奨学制度とは違って、一人一人に世話クラブとカウンセラーが割り当てられて、日本の文化とその派遣された来てくれた国の文化の違いとかいうのを交換しながら、いろんな文化情勢知っていきたいということになります。うちでは大住さんがカウンセラーということでお世話になります。よろしく願いいたします。最後になりますけども、これロータリーの宝は会員ではなくて、私たちが育てた若者たちであるというのが青少年奉仕活動の根幹になる考え方です。

次世代のリーダーを、作り出す事。それから、超我の奉仕。ロータリーの理念を次の世代へ伝えてくための有効な活動だというふうに思われます。それと世界理解ですね。ロータリークラブ自体がワールドグローバルな組織ですので、そういう感覚を育ててそういう国際人としての青年を育てたいということで、これらの活動がおこなわれております。つたない話ですけども、ロータリーの青少年に関わる活動について多少ですけどもご説明させていただきました。わからない事ありましたらいろんなこと聞いていただければ、あとネットで調べるとどんどん出てきますので、是非知識を深めていただいご理解いただければというふうに思いますので、よろしく願います。今日はありがとうございました。

●藤田龍文会長



お時間いただきましたので、私習慣的にいつもこうノートを持ってまして、ある先輩から聞いて、よく皆さん読書は大事だって大体聞きますよね、本を読む。ただそれってなかなか最近読書できなくて。私も本は一応買うんですけど、よくある積読というやつですね。本棚に並べて満足してしまっただけがもう20冊も30冊も溜まって、いつの日か読もう、買っただけで満足してしまう。そういうのがずっと続いて、何かのセミナーで聞いたことがあって、そんなことをしてももったいないだろうと。毎日、新聞来てるだろうと。言われてみれば新聞来てるなということで、毎日、朝ちょっと年齢のせいか4時5時に起きてしまうので、起きて新聞を読むことにここ数年ずっとして。地方紙と経済紙をこう読んで、最初漠然とこう大体最初お悔やみ欄とかそういう今日誰が亡くなったかななんて、そういう確認から始まってたんですが、それからだんだん記事を流し読みするようになったりしながらしてた時に、ちょっとある記事を読みまして忘却曲線という、人って何でも忘れちゃう。生き物って忘れるから人間は生きてられると言いますよね。他の動物はあんまり忘れないから生きてられないとか寿命が短い。人間って忘れるから結構いい部分もあるんですね。嫌なことも忘れて、良いことも忘れて。そういった部分もあるその忘却曲線ってあるらしくて、まあ忘れてしまっただけでも沢山あるんですけども、覚えておきたい時って人は1か月後には大体64パーセント忘れるそうです。それで3か月後には94%忘れるそうです。ただそれをメモに書いたり、自慢げに人に喋ると相当の確率で頭に残るそうです。ですから、よくビジネスの本なんか読んだりすると、最初人のまねをしないという人まねをする、悪いことじゃないですよ。悪いことじゃなくて人の良いことの人まねをするということが、やはりそれを覚えたり身に付けさせること。そしてこう字に書いたり、まあ今携帯でもいいのかな。携帯にメモしたり、そして自慢げにステージはどこでもいいです。夜のスナックでもどこでもいいですが、自慢げにネタとして喋ると自分の頭に強く入ってくるそうです。ここ最近ずっと新聞見ますと、ちょっと前まではITITという言葉がいっぱい出てましたけども、ここ2~3年前はDX、デジタルソリューション

ンかDXという言葉が出てきて、最近そのDXもだんだん影を薄めて、最近ではAIですね。アーティフィシャル・インテリジェンス。AIが盛んになってきたんですけど、これからはHXだそうです。もうAIだけに頼っては、もちろん頼るところもありますね。今日の日経なんか見ますと、霞が関の国の省庁は文章の検索や作成をAIに正式に頼るようにちゃんと国として舵を切ったようですから、皆さん普段携帯の中でAIちょっとしたことで調べさせたりするのが、もうちゃんと国としても使うでしょうし、いろんな宮本先生今日はいらっしゃるからいろんなところの判例、最近のソフトの中には、判例を何百万件AIに覚えさせて初期の判例はAIに判断させたりとかするということもありますし、建物の設計ですか、設計もこの土地の面積でこの容積率でこういった建物とポンとやるとワンクリックで比較的たたき台の図面ができてしまうと。今日は設計士の渡辺君はそのショックで火傷したかもしれませんけども、だんだんそういう職業によってはそういった部分が変わってってしまうとか、助けていただけるといふこともあり、それだけではやはりだめだということで、これからはHSとってヒューマン・ソリューションということで、人もちゃんとチェックしなくちゃだめですよ。AIだけにお任せしてるのではだめですよというのがよく記事に出てるようになってます。私も新聞のただの受け売りなんですけど、こういう突然言われて突然皆さんに知ったかぶりでこう喋ると、僕は忘れなくなります。ちょっとそういうのが会社の中でもなんでも、いろいろなことでそういうのが少し大事になるということで、今日本当は金田昇ガバナエレクトのご令嬢のヤマザキさんがATとかね、この間何でしたっけ商工会議所で講演やったのは、ノーコード。ノーコードっていうちょっと難しい、本当は今日その話をしてもらいたかったんですけど、私のその講演会のメモはやはりこれで取って、ノーコードって書いてあって確か2月何日かで、クエスチョンマークだけで終わっちゃったんです。もうちょっと聞いてメモしとけば、もうちょっとノーコードについて喋れたかもしれないんですけど、そういった感じでいろいろな所で普段の生活でも聞いたことをメモしたり皆さんに喋ったりするということで、そういうことも大事なんだなということもあります。例えば、ちょっと吉野さんの顔を見て思い出しちゃんですけど、世の中の例えでブラックスワンとホワイトスワンという言葉があるそうです。ブラックスワンというのは世の中の今のトランプ大統領の例えで、こうちょっと強引に押し進めてしまう、自己的に進めてってしまう。今の報道見てればわかりますよね。ちょっと最近飽き飽きしてきたかもしれませんが、いろんな情勢に対してははっきり言ってしまって、全然外れてたりしても何の謝りもせず言い続ける。それがブラックスワンという例えだそうです。もう予測不可能の言動だったり態度だそうです。その正反対がホワイトスワン。昔、吉野さんがよくそういう着ぐるみ着ていらっしやいましたが、それは予測可能な正直な表現だそうです。それは今の日本だそうです。それがだから対局で、それが良いか悪いかわかりませんがブラックスワンとホワイトスワン。私たちの生活の中にもそういった極論の部分があるかと思いますが、そういったいろんな例えがあると。最近やはり今の若い人たちの中では、そういうのを見てきて育ってしまってグレースワンというのが出てき

た。そのものですね、ああゆう感じでホワイトとブラックの間のグレーゾーンを中間位置を攻めてく若い人が増えてきてるというようなことで、はてさて皆さんはそれぞれの年齢があるでしょうから、自分はどっちなのかなというのを感じていただければと思います。ちょっとこんな事で大体いいでしょうかね。こう取り留めもなく一行のキーワードだけをこう毎日書いてて、気になったのをAIで調べたりこうして漠然と書いてあるものですから、最後まで意味が書ききれない部分もあるんですが大体そんな感じですよ。是非ですね、皆さんもだんだん読書しないとかってというのは危機感自分自身で感じてるとは思いますが、ネットで読んでもいいでしょうし、何かを本とかやっちゃってちょっと書き記すというのは結構覚えるのにはいいようですので是非ご活用いただければと。くだらない話ですみません。

●青木大会長エレクト



昨日第2回のクラブ協議会を開催させていただきました。お詫びをしなくてはいけないのは愛好会の委員長の皆様方にちょっとご案内が漏れてまして、大変申し訳ございませんでした。次の会議はないんですが、次年度の委員会目標とかか予定を出していただきたいので、吉成さんが後で1回目と2回目の資料をお渡しいたしますので、それを読んでいただいて提出していただきたいと思っております。決して軽視してわけではなくて、ちょっと片隅から外れてしまったということで本当にお詫びを申し上げます。それと予算組みをしまして、お金が全く足りません。一人頭、負担金を合わせると大体18万8,000円か9,000円位、年間かかるんですね。それは例会に毎回出てきてその人の権利を行使したとしての話なんですけど、その代わり休みはありますから今のところ足りてるようなところでもありますけど、本来その人が全部出てきたとした時にかけれる経費がないということが正直なところの困っております。出席率を上げたいとか、より良いサービスを会員の皆に提供したいという高い目標と相反する、出てきてもらったら赤字なので出てきてもらいたくないなあみたいなのところのバランスが非常に悪くてですね、それを解消すべく、第2回の中で予算を年会費を上げたいんですということを言ったら、もう少し時期尚早なんじゃないかというご意見いただきましたので、パスト会長会を6月12日に開催をさせてご意見を皆さんから賜りたいというふうに思っております。この出欠の案内を、吉成真五郎さんのほうから改めてご案内をさせていただきますので、皆さんのスケジュールを調整していただき、そして予算ももうその時にはお示しをして、このぐらいこういうふうにしたらいんだという事をお伝えさせていただきますたいというふうに思っております。会が発足して40年、年会費が値上げされたかどうかまでは知りませんが、30年ぐらいの間では一度も上がってなくてですね、デフレの30年の間は何かかなりなりましたが、これだけインフレが続くとですね、世の中上がっておりますので年会費上げさせていただきますたいと、決してブラックスワンではないですけどそういうふう